

ピリピ
の手紙

国籍のある 天を目指して

ピリピ人への手紙3章

信仰の成熟者への奨励

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 栄化を目指す聖化の道 3:1～14

II. 成熟した信仰者として 3:15～21

III. まとめと適用

天に国籍があるということ



エペソの遺跡

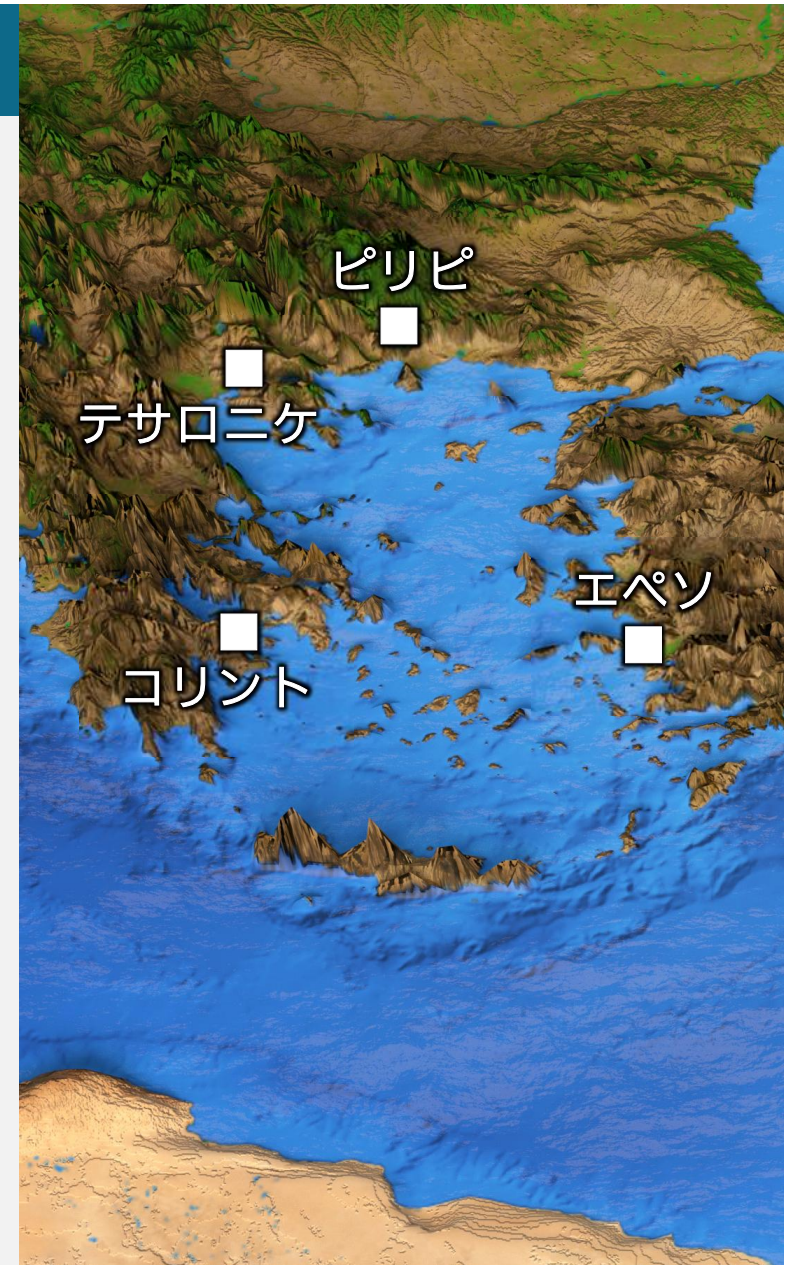


I. イントロダクション

ペリピの遺跡

ピリピ人への手紙とは？

- 著者 …パウロ、テモテ(書記?!)
- 宛先 …ピリピ(ヨーロッパ初の宣教地)
- 場所・時期 …ローマ？ エペソ?!
60年代初め?! 50年代半ば?!
- 背景 …ピリピ教会が、獄中のパウロに
エパフロデトを送ったが…
- 内容 …「愛の手紙」と呼ばれる





I. 栄化を目指す聖化の道

ピリピ人への手紙3章1～14節

エペソの遺跡

警鐘

前置き ピリピ3:1

最後に、私の兄弟たち、主にあって喜びなさい。私は、また同じこと*をいくつか書きますが、これ*は私にとって面倒なことではなく、あなたがたの安全のため*にもなります。

＊危機の時にも、主にある喜びは失われない。

➡ 厳しい警告の前にも、「喜びなさい」!!

＊教会にはびこる危機への警告

＊霊的危機に対する警戒の大切さ。

激しい戦いの中でも主の守りは変わらない



エペソの遺跡

勧告 真の割礼 ピリピ3:2～3

犬ども*に気をつけなさい。悪い働き人たちに気をつけなさい。肉体だけの割礼の者*に気をつけなさい。神の御霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇り、肉に頼らない私たちこそ、割礼の者なのです。

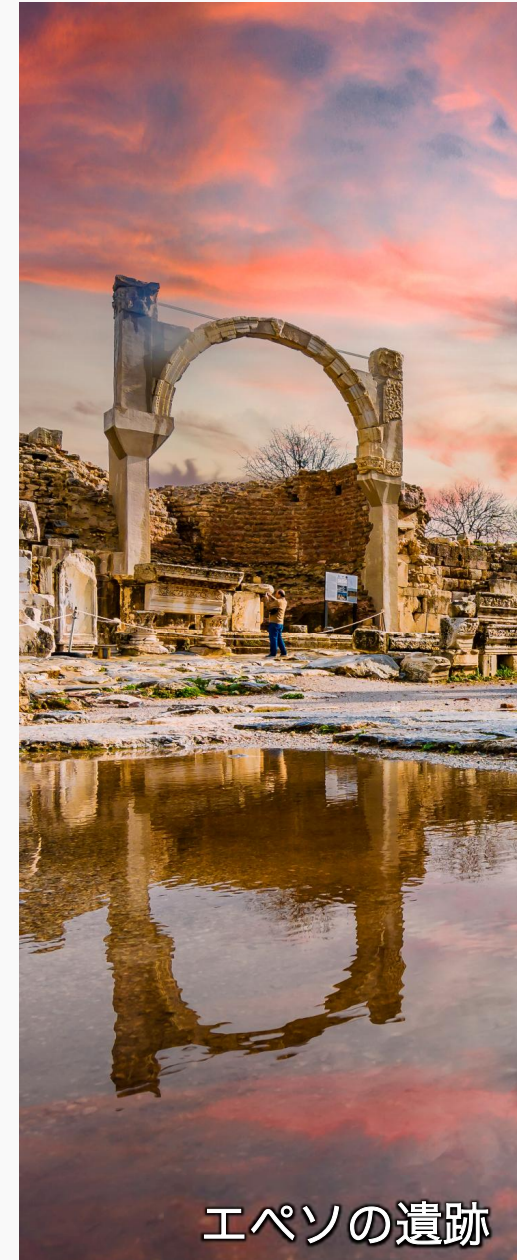
＊偽牧者、悪い指導者(イザヤ56:11)

＊「無割礼の者(異邦人)」と変わらない、

偽りの信仰者であるユダヤ人(イスラエル)

＊割礼の有無に関わらず、

「御霊による心の割礼こそ割礼(ロマ 2:29)」

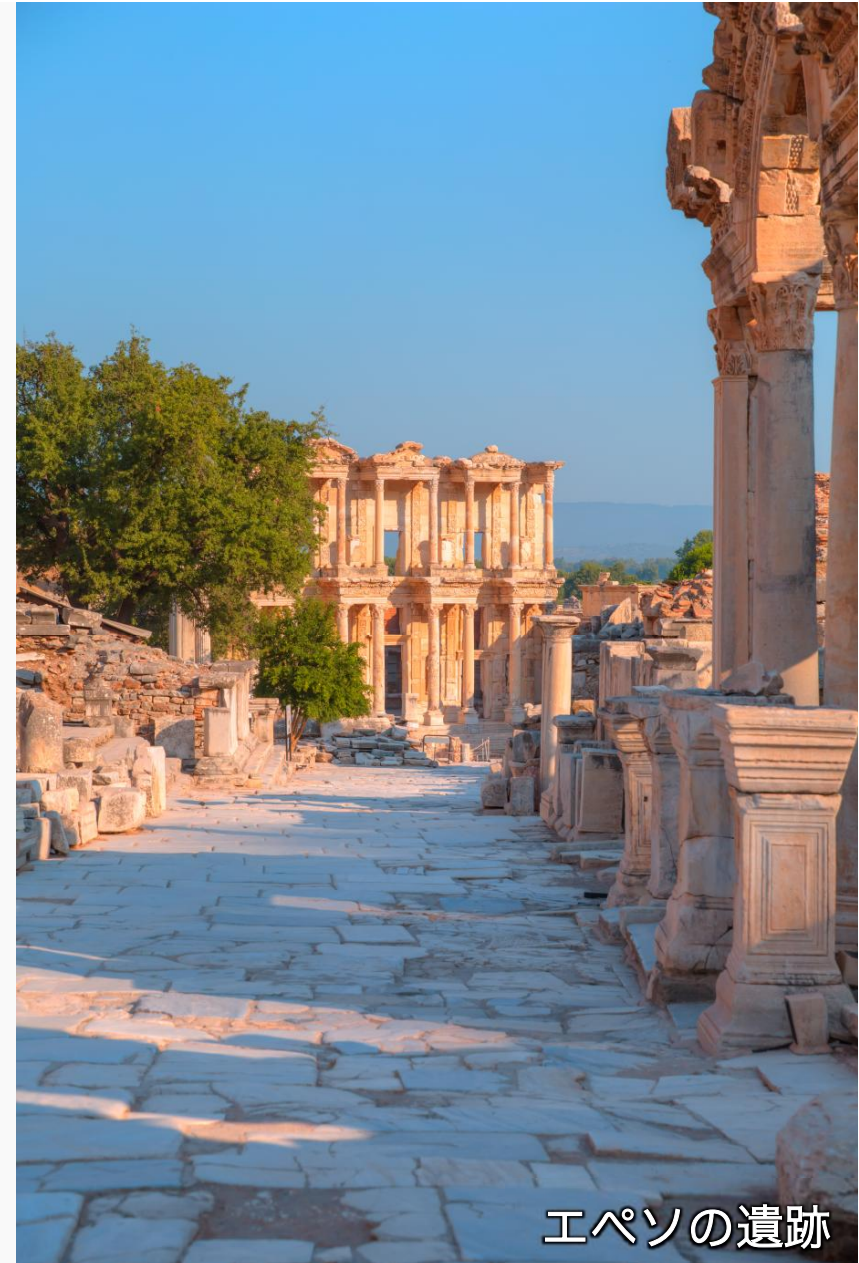


エペソの遺跡

勧告 肉においても ピリピ³:4

ただし、私には、肉においても頼れるところ*があります。ほかのだれかが肉に頼れると思うなら、私はそれ以上です。

* 正統派ユダヤ人のルーツ、経歴。
主張しようと思えばいくらでもできる。



エペソの遺跡

勧告 パウロの正統性 ピリピ3:5～6

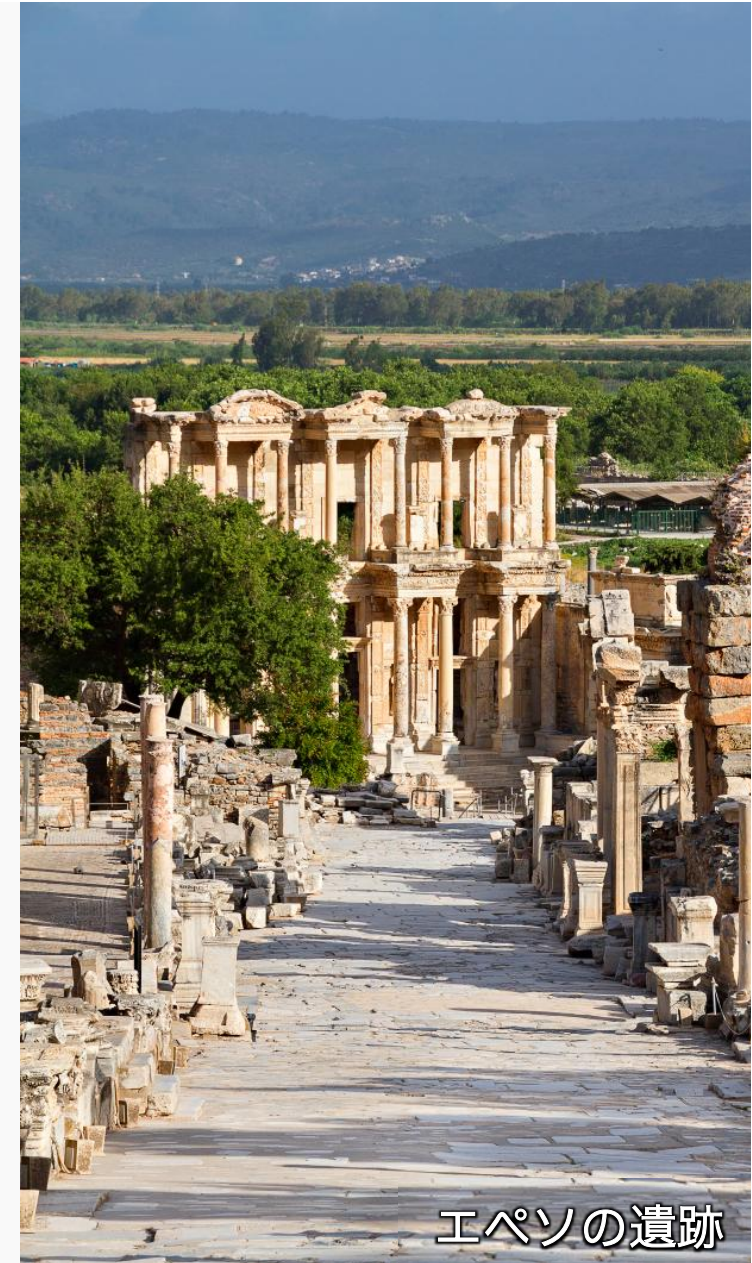
私は生まれて八日目に割礼を受け、イスラエル民族、ベニヤミン部族*の出身、ヘブル人*の中のヘブル人、律法についてはパリサイ人、その熱心については教会を迫害したほどであり、律法による義については非難されるところがない*者でした。

*サウル王を輩出。勇壮さで知られる。

*アブラハムに遡る最も古い民族の呼称。

*律法を遵守していた。

■ さらに、希代の律法学者ガマリエルに師事。



エペソの遺跡

勧告 すべてにまさって 3:7～8a

しかし私は、自分にとって得であったこの
ようなすべてのものを、キリストのゆえに
損と思うようになりました。

それどころか、私の主であるキリスト・イ
エスを知っていることのすばらしさのゆえ
に、私はすべてを損と思っています。

■ 主イエスの真理の前には、出自も血統も、
経歴も、すべてのことが価値を失う。

主イエスを知ること以上のことはない!!



エペソの図書館跡

勧告

キリストにある義 ピリピ³:8b～9

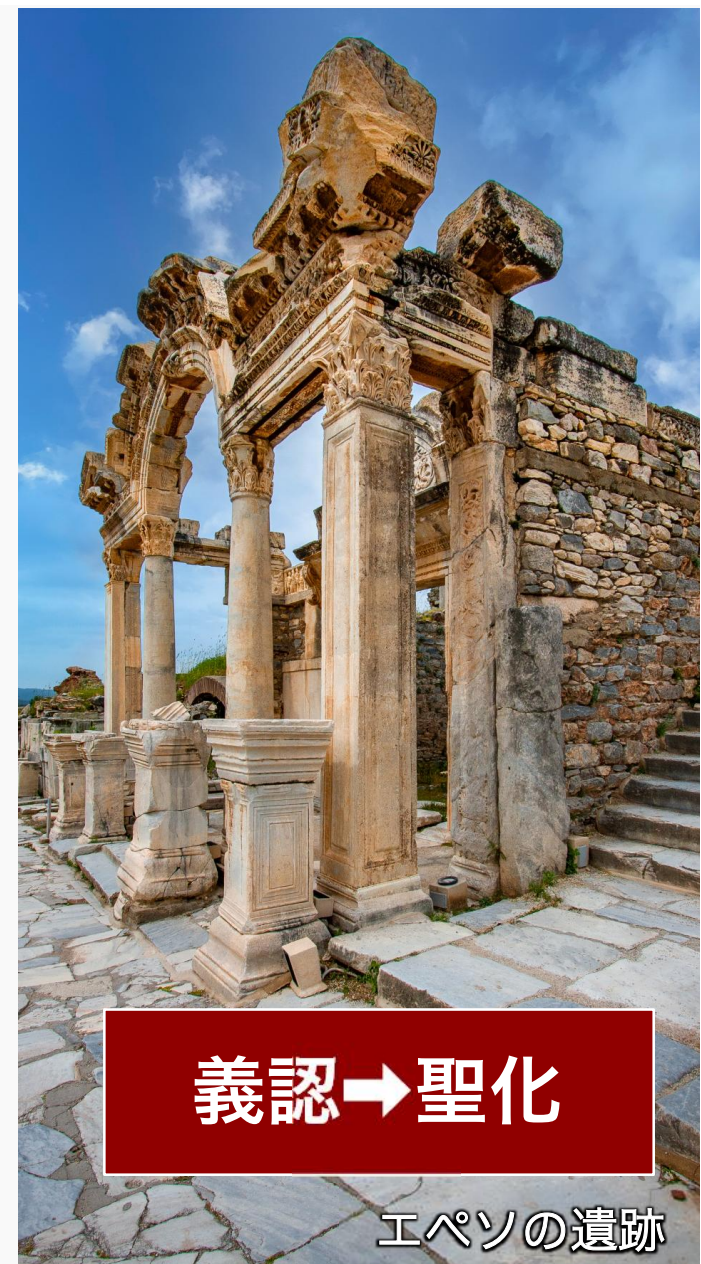
私はキリストのゆえにすべてを失いましたが、それらはちりあくただと考えています。それは、私がキリストを得て、キリストにある者*と認められるようになるためです。

私は律法による自分の義*ではなく、キリストを信じることによる義*、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義*を持つのです。

*永遠にキリストの所有とされた者

*律法を遵守することで得られる自分の正しさ

*信仰により恵みによって与えられる、神の義



義認→聖化

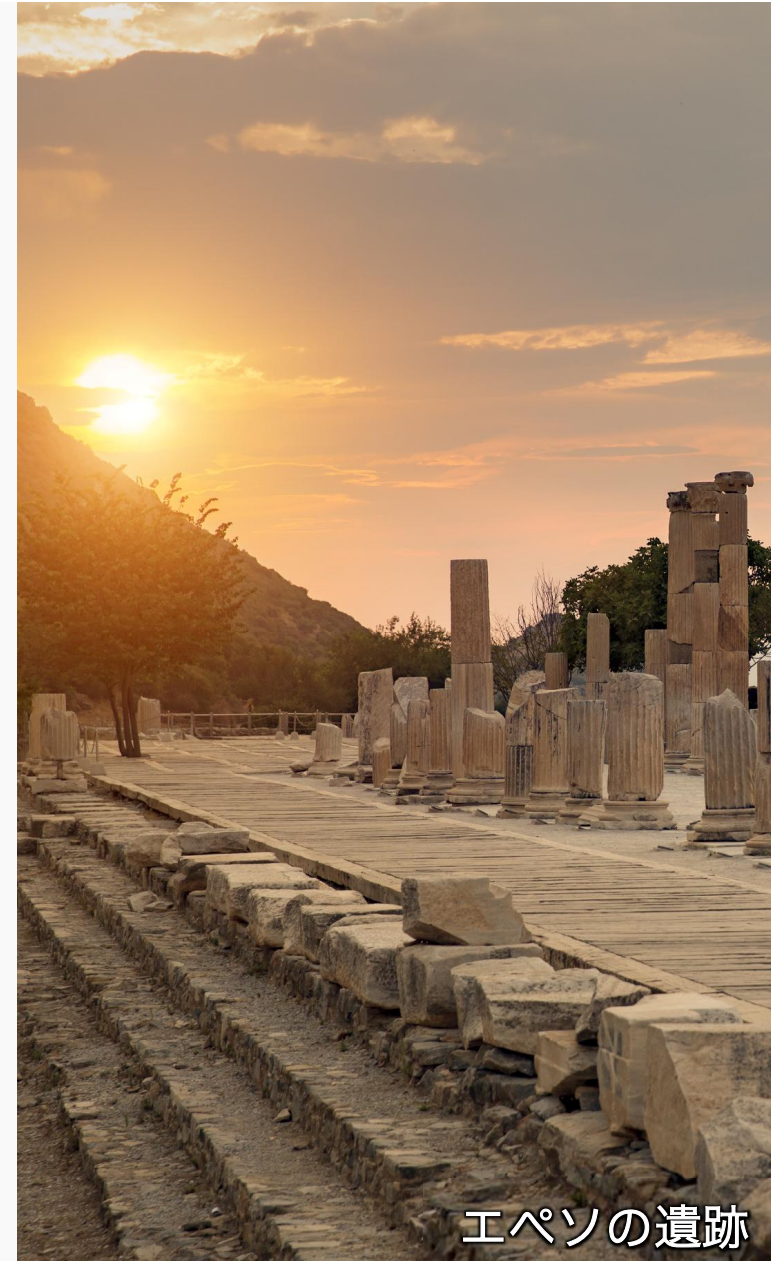
エペソの遺跡

勧告 キリストの道 ピリピ3:10～11

私は、キリストとその復活の力を知り、キリストの苦難にもあずかって、キリストの死と同じ状態になり、何とかして死者の中からの復活*に達したいのです。

- パウロは、完全なキリストの道を求めた。
苦難、死、復活(栄光の体)*に至るまで。
➡見据えているのは、栄化*のゴール

栄化を求め、栄化を希望に!!



エペソの遺跡

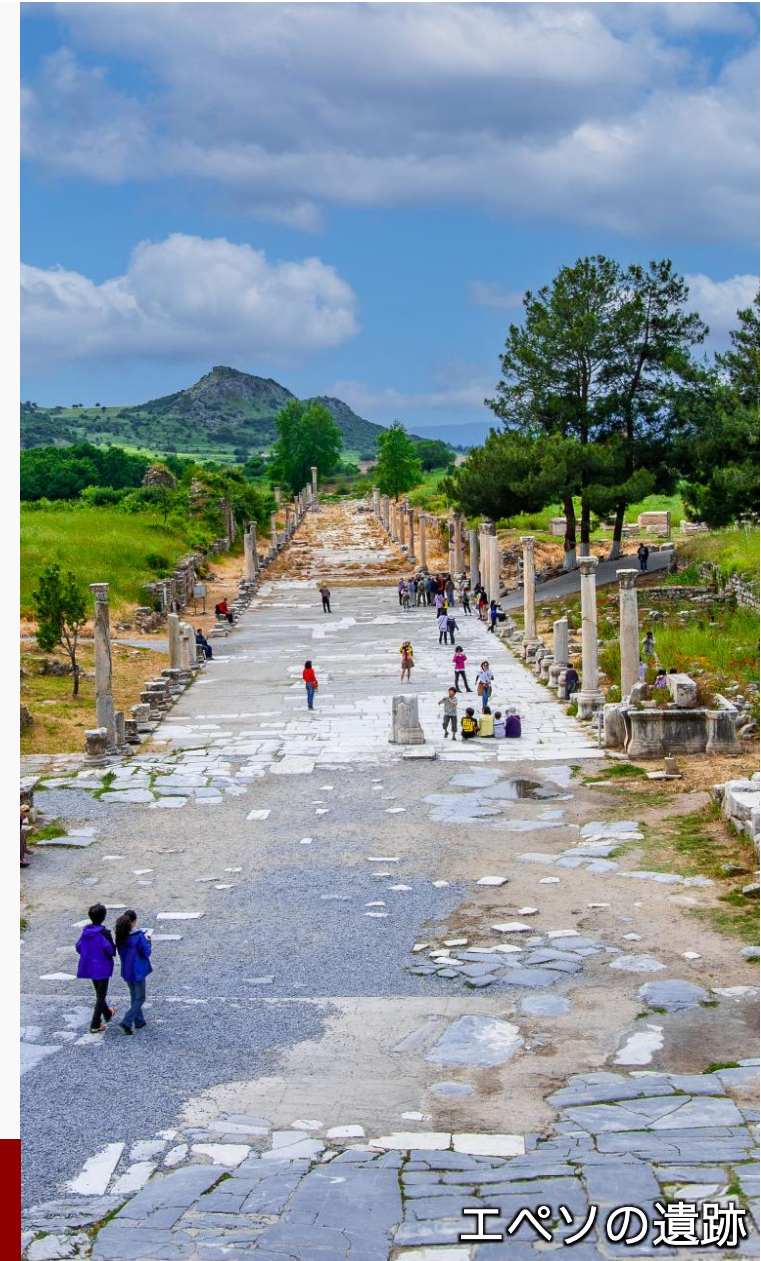
勧告 聖化の求道者 ピリピ3:12

私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして追求している*のです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

■ キリストが私を捕らえてくださったから、
栄化を求めて、**聖化**の道を歩み続ける。

➡ キリスト者の生涯

完成へ向かって成長していくのが、信仰者



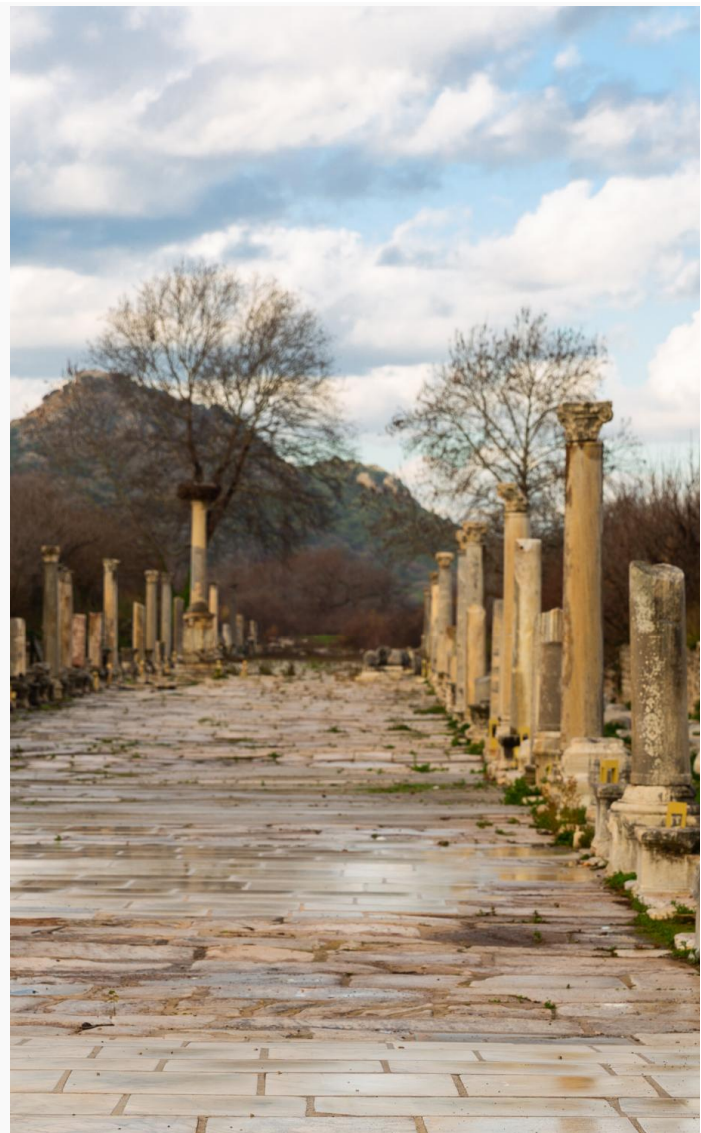
エペソの遺跡

勧告 栄化に向かって ピリピ3:13~14

兄弟たち。私は、自分がすでに捕らえたなどと
考えてはいません。ただ一つのこと、すなわち、
うしろのものを忘れ*、前のもの*に向かって身
を伸ばし、キリスト・イエスにあって神が上に
召してくださるという、その賞*をいただくため
に、目標を目指して走っているのです。

*背きと罪の中に死んでいた自分(エペソ2:5)

*神の国で与えられる、栄光の体・永遠の命



義認から始まった聖化の道を、栄化を目指して走り通そう!!



Ⅱ. 成熟した信仰者として ピリピ人への手紙3章15～21節

エペソの遺跡

勧告

成熟した信仰者 ピリピ3:15

ですから、**大人である人***はみな、このように考えましょう。もしも、あなたがたが何か違う考え方をしているなら、そのことも**神が**あなたがたに明らかにしてください*。

＊信仰の成熟した人(Ⅰコリ2:6)

＊過ちは必ず主が正してくださる

■ 大人として判断できる信仰者として、
成長し、成熟しているか？

➡ 神に委ねることができているか？



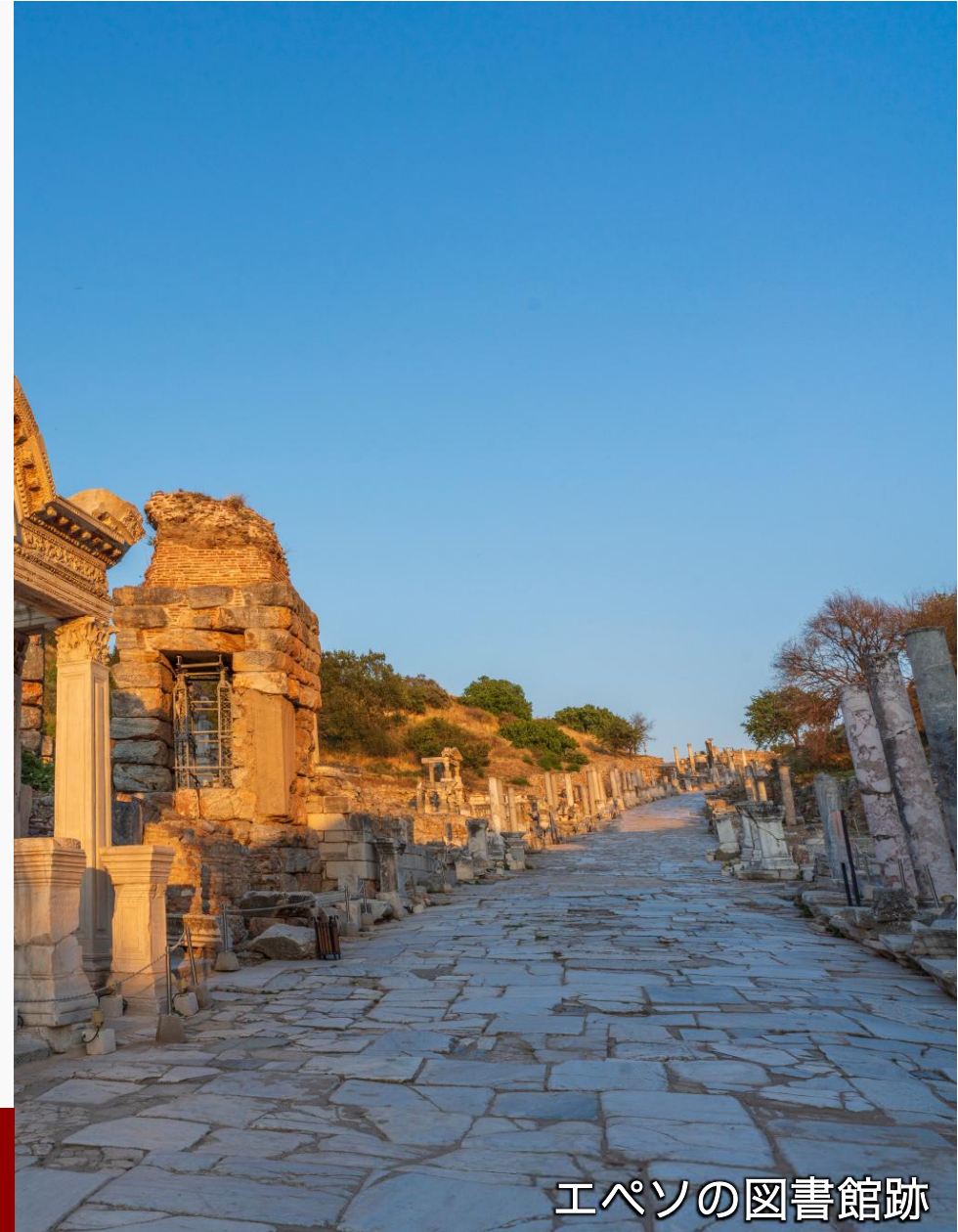
エペソの図書館跡

勧告 ただし、私たちは 3:16

ただし、私たちは*到達したところを
基準にして進むべきです。

- 他者のことは神に委ねたとしても、
自分自身は、主に従い歩むべき。
 ➡ 信仰の成長は段階的に促される
- 信仰の成長の度合いに応じて、
主に従う責任・責務も増していく。

一人一人が、主に問われている



エペソの図書館跡

勧告 倣う者の責任 ピリピ3:17

兄弟たち。私に倣う者となってください*。
また、あなたがたと同じように私たちを
手本として歩んでいる人たちに、目を留
めて*ください。

*信仰の先達者を見倣いつつ、

*共に歩む人々にも目を配る。支え合う。



使徒たちの教えを共に学び、互いに配慮していく大切さ!!

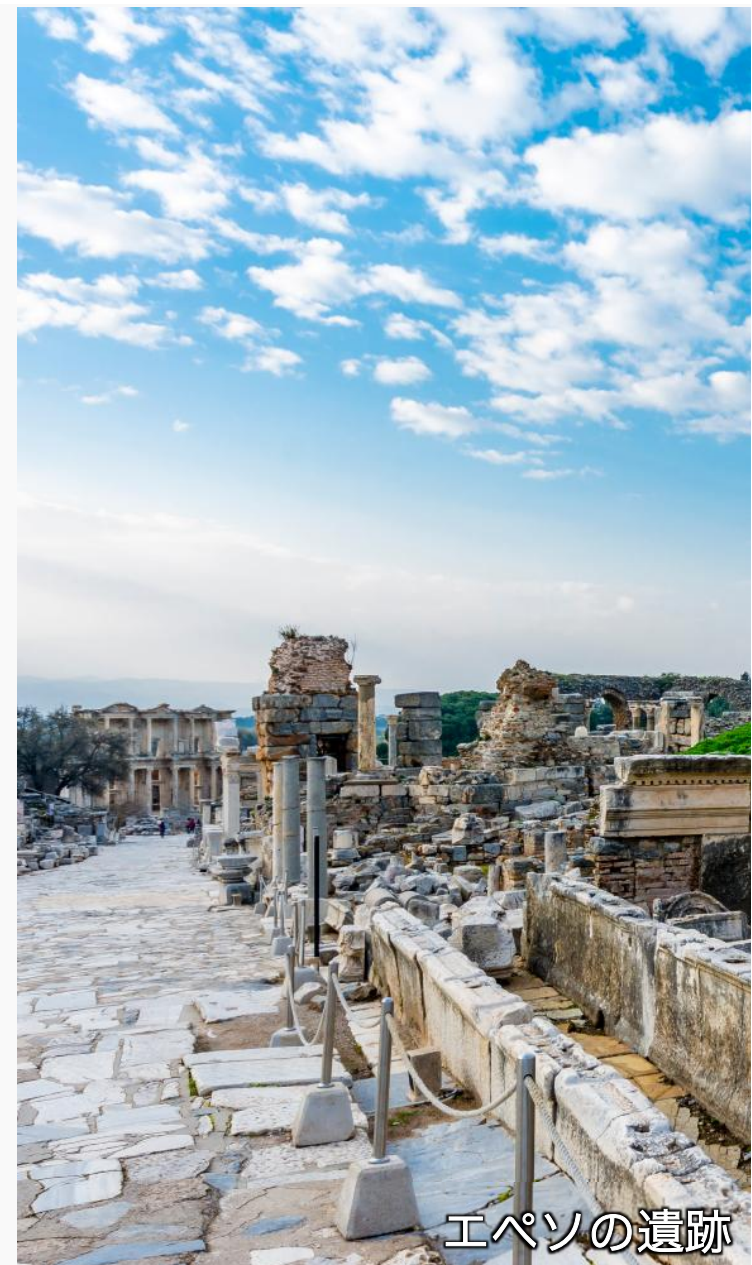
勧告 十字架の敵 ピリピ3:18

というのは、私はたびたびあなたがたに言ってきたし、今も涙ながらに言うのですが、多くの人が**キリストの十字架の敵***として歩んでいるからです。

＊キリストの十字架を拒む者、外にも内にも。

➡道を外れ、教会を離れる者も多くいた

■切実に人々の救いを求め、互いに励まし、戒めあい、共同体の信仰を守るように!!



エペソの遺跡

勧告 滅び行く者たち ピリピ3:19

その人たちの最後は滅び*です。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考える*者たちです。

*不信仰者と偽信者の末路は永遠の滅び

*偶像礼拝の罪の本質

■ 私たちに信仰者に求められることは？

➡ 唯一の神を神とし、
主の栄光をほめたたえ、
神の国を第一に考え、求める。



エペソの遺跡

信仰者への求め

「まず神の国と神の義を求めなさい。
そうすれば、これらのものはすべて、
それに加えて与えられます。

マタイ福音書6:33」

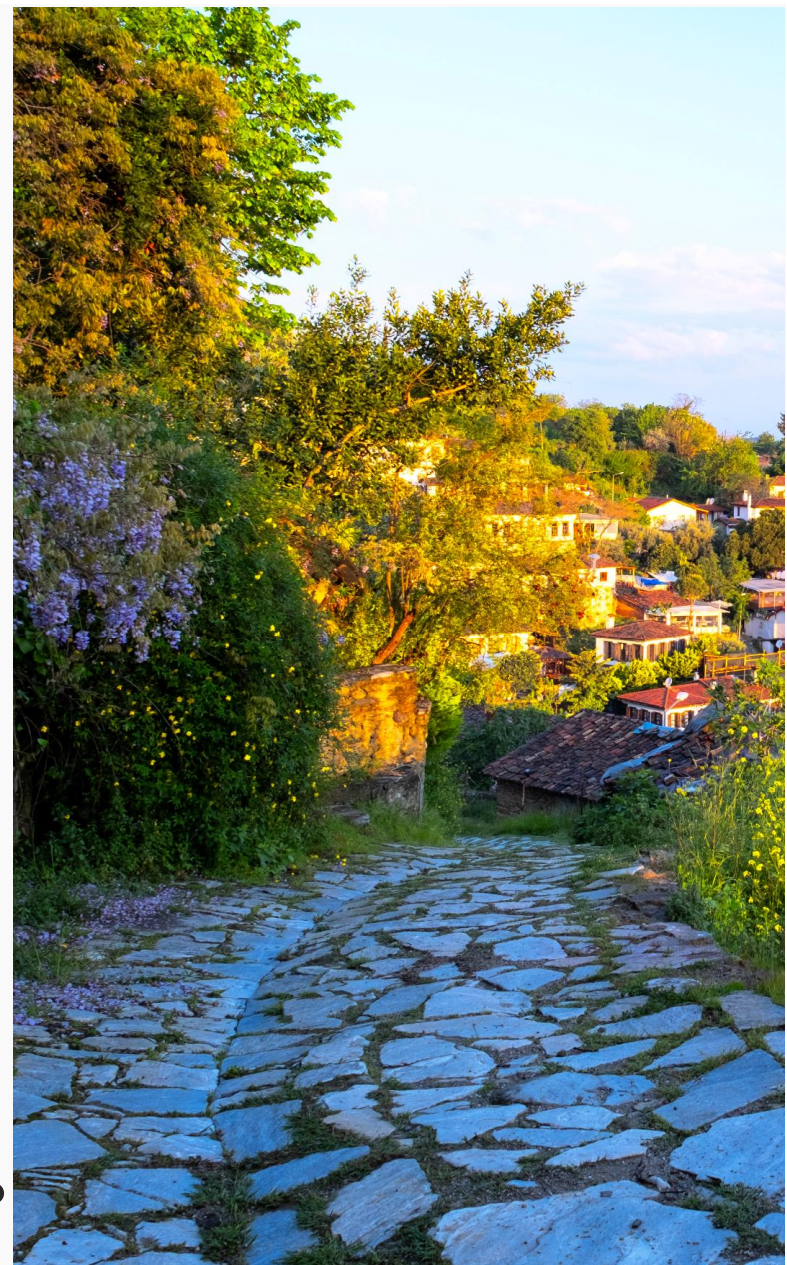
勧告 我らが国籍は天にあり ピリピ3:20

しかし*、私たちの国籍は天にあります。
そこから主イエス・キリストが救い主として
来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

*多くの人々は、キリストに敵対し、
滅びの道に向かっているが…。

*すでに、神の国の永遠の民とされている

■主イエスは、世の終わり、大艱難の最後、
栄光の王として神の国を建設され、
私たちを栄光の体で永遠に住まわせられる。



勧告 栄化のゴール ピリピ3:21

キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力*によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿*に変えてくださいます。

＊嵐を鎮め、使者を蘇らされた。

➡世界を造り変え、永遠に支配される。

■ 栄光のキリストは、復活の初穂。

➡後続くすべての信仰者にも、
復活の栄光の体*が与えられる。



エペソの遺跡



Ⅲ. まとめと適用

天に国籍がある、確信を育もう

エペソの遺跡

宣言の背景を押さえよう!!

■ “大人である人(成熟した信者)”への呼びかけ

- ① 信仰者が道を間違えることがある → 必ず正される
- ② 他人に左右されず、段階を追って成長していくことが大切
- ③ 使徒たちの教えを、兄弟姉妹と共に学び、互いに配慮しあう
- ④ 教会の外にも内にもいる、キリストの十字架の敵に警戒する
→ 敵対者の末路は滅び

■ 信仰者の成長の過程において、霊的戦いは尽きることはない

「しかし、私たちの国籍は天にあります。エペソ3:20」

信仰者に求められる、成長と成熟

「しかし、私たちの国籍は天にあります。エペソ3:20」

■この宣言は、成熟した信仰者だからこそ、口にできること。

➡神の計画の全貌を理解し(特に終末論が重要)、
主への信頼の上に日々を歩んでいることが、大前提!!

■大きな苦難や厳しい試練の中で、希望と力を与えるのは、
主が約束された、来るべき神の国、栄光の体、永遠の命。

信仰の成長のための確認事項

■ そもそも何を信じて救われた？

➡ 主イエスの十字架と復活の福音

■ 信じた瞬間、何が起こった？

➡ すべての罪を赦され、新生し、聖霊が内住

■ どうしたら、変わっていきける？

➡ 主の御言葉により、内住する**聖霊の助け**によって

■ どこで、変えられていく？

➡ キリストの体なる教会に連なる、**兄弟姉妹の関係性**の中で

神の約束が私たちを育む

① 神の約束を学ぶ

➡ 聖書は、旧約も新約も、全体が、神の約束の書

② 神の約束を守る

➡ 主に聞き従うことは、主の約束を守ること

今の時代に従うべきは、キリストの律法、使徒の教え

③ 悔い改めて、神の約束に立ち返る

➡ 過ちを犯し、約束を破ってしまった時には悔い改める

悔い改められない人は、そもそも神の赦しを得ている？

約束とは何か？

- 誓いは果たせ、約束は守れ、言ったことはやれ → 聖書の原則
(※ダブルル…話す、語る、命じる、約束する)
- 主の前に表明したことは、主への誓い、約束とみなされる。
→ 「主の名をみだりに口にしてはならない(出20:7)」
- 「偽って誓うな、誓ったことを主に果たせ(マタイ5:33)」
主イエスの命令は、“「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」”
→ 従うべきは従う。拒むべきは拒む。ただ主の約束を守る

ただ主の約束を守り、主の約束に生きるだけ!!

「悔い改め」という恵みの根拠

■「私の罪は赦された」、主の赦しを得ているからこそ、
私たちは主を仰ぎ見ることができる。

■罪を犯した時、悔い改めて立ち返ることができるのも、
私たちが主の赦しを得ているから。

■「神様は、絶対に私を見捨てない」 ➡教育的刈り取りも!!

➡この信仰の確信があってこそ、聖化の道を歩んでいける

悔い改めの特権を日々行使していくのが、信仰者

★ 天に国籍がある、確信を育もう ★

■ 私を成長させ、完成に至らせられる、主の約束に信頼しよう。

■ 主の約束に生きる者に変えられていこう。

言ったことはやる。誓いは果たす、約束は守る。

何よりも、誠実に主に聞き従っていこう。

■ 過ちを犯したら直ぐ、主の約束に悔い改めて立ち返ろう。

私の力でできるはずのないことを、主が成し遂げてくださる。

私の国籍は天にある 確信をもって宣言できる成熟した信仰者へ!!

てん とう
「天のお父さま。私たちの^{つみ}罪をゆるしてください

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの^{つみ}罪を^{あがな}贖うために^{じゅうじか}十字架で^し死なれ、

はか ほうむ
②墓に^{ほうむ}葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に^{ふっかつ}復活されたこと、を^{しん}信じます。

わたし うち す せいれい わたし か
私の内に^す住まれる^{せいれい}聖霊が、私を^か変えてくださいます。

しゅ やくそく まな しゅ やくそく い わたし しゅ こ
主の^{やくそく}約束を^{まな}学び、主の^{やくそく}約束に^い生きるのが、私たち^{わたし}主の^{しゅ}子ども^こです。

あやま きづ とき す く あらた た かえ
過ちに^{きづ}気付かされた^{とき}時には、直ぐに^す悔い^く改めて^{あらた}立ち返ります^{た かえ}。

わたし こくせき てん かくしん つか
私たちの^{こくせき}国籍は^{てん}天にあります。この^{かくしん}確信をもって^{つか}遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ^な名によって^{いの}祈ります。 アーメン」